

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		決勝																
日時	平成30年1月7日 (日)		11:40 ~															
会場	伊達市総合体育館 Aコート																	
結果	札幌向陵 札幌	<table border="0"> <tr><td>17</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	17	—	18	18	—	12	20	—	8	22	—	11	OT			士別南 名寄
	17	—	18															
18	—	12																
20	—	8																
22	—	11																
OT																		
	77	49																
審判	主審 工藤 由佳	副審 五島 義人・庄司 望美																

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

札幌向陵		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	前田 ひまわり	×	16	0	8	0	4	3
5	鎌田 こころ	DNP						
6	岩渕 耶々子	×	4	0	2	0	5	0
7	石田 かれな	DNP						
8	青山 萌夢	DNP						
9	藤原 ゆらら	DNP						
10	田村 梨奈	×	15	0	7	1	6	4
11	森岡 ほのか	×	36	1	15	3	8	3
12	新田 芽生	/	0	0	0	0	0	1
13	長倉 彩夏	×	6	0	3	0	7	2
14	中川 実花子	DNP						
15	森川 理梨	DNP						
16	沢田 倫花	DNP						
17	斉藤 夕凧	DNP						
18	小山内 咲	DNP						
HC	永井 文明							
合計			77	1	35	4	30	13

士別南		名寄						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	田口 夢花	×	10	0	5	0	8	4
5	伊藤 姫厘	×	13	0	4	5	5	1
6	伊藤 遥奈	×	0	0	0	0	2	1
7	粥川 実聖	×	11	0	5	1	4	0
8	菅原 ほのか	×	15	0	7	1	0	0
9	高橋 なつ	/	0	0	0	0	0	0
10	庄司 聖奈	/	0	0	0	0	0	0
11	齋藤 心奈	DNP						
12	松原 愛	DNP						
13								
14								
15								
16								
17								
18								
HC	三上 貴也							
合計			49	0	21	7	19	6

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

準決勝で東月寒に快勝した札幌向陵と、帯広翔陽を破ってきた士別南の対戦。向陵#4、#6、#10、#11、#13、士別南#4、#5、#6、#7、#8でスタート。お互いに堅い守りからスピード感のあるオフェンスで序盤から天の取り合いになる。士別南は#5、#8を中心に全員で走り、残り1分で15-18と向陵からリードを奪う。向陵も#11、#4が体を張ったプレーで士別南に対抗する。17-18向陵リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドの立ち上がりもお互いに高確率でシュートが決まる。向陵#10がスティールからレイアップを決めれば士別南#7がすぐさま走って決め返す。一進一退の攻防が続く中、シュートが落ち始めた士別南に対して向陵が#4を中心に速攻を仕掛け、29-23と向陵が3点リードする。しかし士別南もすぐさま#7が入れ返す。向陵も#10、#11の1年生コンビがランニングプレーで得点し、35-30向陵5点リードで前半終了。

後半先制したのは向陵、ディフェンスリバウンドから#13が速攻で決める。ターンオーバーが増え始めた士別南に向陵が速攻でたたみかける。#4のバスケットカウント、#11のレイアップなどで45-32と一気に13点差まで広げる。残り5分24秒士別南がたまたまタイムアウト。タイムアウト明け、向陵はディフェンスのプレッシャーを強め、士別南を苦しめる。しかし士別南も#4が高さを生かした攻撃で対抗する。シュート率が落ちている士別南に対して、向陵は#11がインサイドで確実に加点していく。55-38向陵がリードして第3ピリオドを終える。

最終ピリオドは向陵#11がドライブから得点。士別南も#7、#8のドライブ、#4のインサイドプレーで果敢に攻めるも向陵も気迫のディフェンスで簡単に点を与えない。向陵は中、外と高い得点力を持つ#11が加点しこの日30点目。更には速攻からレイアップも決め、71-45と大きく士別南を突き放す。77-49で札幌向陵が粘る士別南を振り切り、新人戦北海道の頂点に立った。劣勢に立たされても最後まで全力でボールを追いかけて、走り切った士別南にも大きな拍手を送りたい。